

施策体系

基本方針	3	教育の健幸	施策名	9	義務教育の充実
------	---	-------	-----	---	---------

施策統括部	教育部	関係課	農政課
施策主管課	学校教育課		

1 施策の評価指標

成果指標		単位
A	市標準学力調査(CRT)において全国標準値を50とした場合の児童・生徒の総合学力の平均値(標準スコア)	標準スコア
B	教育保障ができていない不登校児童・生徒数	人
C	いじめ暴力等の問題行動を市教委に口頭報告・相談した件数	件
D	新体力テストの総合評価でA~C判定の児童・生徒の割合	%

2 指標等の推移

成果指標	R4年度実績値	数値区分	6年度	7年度	8年度	9年度	評価	背景として考えられること
A 標準スコア	51.30	目標値	51.50	51.60	51.70	51.80	×	学力については、市全体として目標値に達していません。学校・学年・学級間で格差があり、教職員不足や家庭学習の未定着等も要因として考えられますが、「志合わせ夢実現プロジェクト」の浸透により、学習規律の定着度は年々高まっており、学年が上がるごとに学力が高くなってきている。
		実績値	49.29					
B 人	1	目標値	0	0	0	0	×	不登校や不登校傾向の児童・生徒については、各校の不登校委員会で対応を検討し、当該児童生徒のおかれた状況に応じた多様な学びの確保に努めています。数名の課題の残る児童・生徒についても、関係機関との連携を強化しつつ対応し、早急に改善を図っていきます。
		実績値	3					
C 件	13	目標値	12	11	10	10	○	積極的ないじめの認知をおこない、早期発見・早期対応に努めている中、現時点で最終目標値に到達しています。中学校区ごとの小中一貫教育の推進により、支持的風土の育成を図るとともに、二学期制のメリットを生かして、児童生徒と向き合う時間の確保や教育相談等に取り組んできた成果とらえています。 (注釈) 令和5年度の学校における暴力行為について…市の児童生徒数に合わせて換算した場合、熊本県24件、全国では65件となる。令和6年度の目標値は県の半分の12件を目標と設定した。
		実績値	8					
D %	70.2	目標値	71.2	72.0	72.5	72.7	○	コロナ禍により一時的に低下がみられていましたが、新体力テストの結果を踏まえた体育指導等の工夫・改善により、徐々に児童生徒の体力・運動能力は回復してきています。学校体育・健康教育研究推進校(合志楓の森小)の取組を他校に広げるなどして、最終目標の達成を目指します。
		実績値	71.9					

※【評価】 ○；目標達成 △；目標をほぼ達成(-5%) ×；目標を未達成

事務事業数・コスト			6年度	7年度	8年度	9年度
事務事業数		本数	19			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	75,600		
		都道府県支出金	千円	3,024		
		地方債	千円	671,200		
		繰入金	千円	16,230		
		その他	千円	0		
	一般財源	千円	1,499,886			
事業費計		千円	2,265,940			

3 施策の現状・住民意見等

①施策の現状（第1期基本計画策定当初）と今後の状況変化

- 急速な住宅開発等による児童生徒数増に伴う教室不足が見込まれる合志楓の森小中学校において、令和6年度教室棟の増築工事に着工（竣工は令和7年度）しました。
- 令和7年度に市内小中学校の屋内運動場に空調設備を設置するため、実施設計業務委託を行いました。
- 西合志地域の自校方式の給食施設について、センター方式での施設更新の方針を決定した上で、用地取得の協議を進めました。
- 自校で給食調理を行っている西合志地域の小中学校6校中、児童生徒の増加に対する対応が困難なことから、これまで令和5年度までに1校（西合志中央小学校）について米飯委託を行っていましたが、更に令和6年度から2校（西合志南小学校、西合志中学校）においても、米飯委託を開始しました。

②この施策に対して住民（対象者、納税者、関係者）、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

（令和6年度（令和5年度振り返り）の施策評価における議会意見）

- 中学校部活動の社会体育（教育）移行について計画的に取り組むこと。
- 給食センターの設備の故障などが発生した際の給食提供の対策を講じること。
- 猛暑に対応した教育環境の改善に努めること。
- 市内スイミング施設等を利用して子ども達の体力向上を図ること。

（令和6年度（令和5年度振り返り）の施策評価における総合政策審議会意見）

- 社会性やコミュニケーション能力を身に着けることができる教育を推進すること。
- ICT機器はこどもたちの健康に留意し、効果的に活用すること。
- 多様なこどもたちに関わる教師の負担を軽減するため、専門知識をもった人員や補助員を適切に配置すること。
- 自転車通学をすることもたちが安全に登下校できるよう、練習場所の提供や乗り方教室・交通安全教育を充実させること。

4 施策の評価

①施策の振り返り（経営方針の達成度等）

令和6年度経営方針からの振り返りは以下のとおりです。

①【学校教育の充実を図るため、「志合わせて夢実現プロジェクト」を中心とした5者連携の小中一貫教育を推進します。】については、中学校区ごとに3年間の研究指定を行い、各中学校区のグランドデザインのもと、児童・生徒の実態を踏まえ、学びの連続性を活かした小中一貫教育研究に取り組みました。令和3～5年度の研究指定を行った合志中学校区（4小・中学校）では、市内全ての小・中学校教職員を対象として、4小・中学校会場に分かれて参集型による研究発表会を開催し、研究成果の披露とともに教職員の指導力向上に役立てることができました。また、令和5年度には、新たに西合志中学校区に研究指定を行い、令和4～6年度研究指定の合志楓の森小・合志楓の森中と同様、実践が始まっています。

②【ICT機器を効果的に活用した、多様な授業展開による不登校支援を含めた学びの保障とともに、教育活動の充実を図ります。また併せて、教職員の負担軽減を図るとともに、教職員が子どもと向き合う時間の確保に努めます。】については、学校のICT環境が整備され、タブレットPCの効果的な活用をはじめ、教室に入れない児童・生徒のオンラインによる授業配信などの教育保障を進めることができました。また、タブレットを活用した家庭学習支援も推進することができました。教職員の負担軽減については、校務支援システムの効率化が進み、時間的なゆとりが生まれる中、子どもと触れ合う時間を確保することができています。

③【「豊かな心の育成」を目指し、児童生徒理解と規範意識、支持的風土による居場所のある学校づくりを推進します。】については、ローテーション道徳を通じて教師は複数の学級で授業を行うことで児童・生徒理解を深め、子どもたちは複数の教師から指導を受けることで規律と思いやりの心を育むことができています。また、「志合わせて夢実現プロジェクト」の取組みから基本的な生活習慣や基本的な学習習慣が身につく、そのことが子どもたちの居場所づくりにつながっています。

④【給食施設を含む学校施設の計画的な整備と教育環境の整備・充実に努めます。】については、合志市の学校給食について、安心・安全で安定的においしい給食を提供し続けるにあたり、西合志地域における新しい給食センターの建設に向けて土地の取得について関係者と協議を進めました。

また、学校施設においては、西合志南小学校の教室床改修工事、西合志東小学校のプール改修工事、南ヶ丘小学校の多目的室床張替工事等を実施し、各学校での児童の学習環境が向上しました。また、児童数の増及び35人学級による学級数増に対応するため、合志楓の森小・中学校の増築工事に着工しました。

②施策の課題（令和6年度の施策の振り返りから見る課題）

- 児童生徒数の増加への対応及び老朽化した施設等の改修に加え、防災、環境を考慮した整備が必要です。
- 西合志地域における新しい給食センターの建設に併せて、調理業務を含む運営のあり方について更に具体的な検討を進める必要があります。
- 「志合わせて夢実現プロジェクト」の学校における具現化をさらに進める必要があります。
- 引き続き中学校区における学びの連続性を活かした小中一貫教育の研究における共通実践の確かな取組と研究の成果を子どもたちの姿で検証していくことが必要です。
- 児童生徒の人権感覚の育成と居場所のある学校づくりの推進に向けて、各学校が二学期制による子どもと向き合う時間の確保を工夫するとともに、保護者等にも二学期制の効果を周知する必要があります。
- ICT機器を積極的に活用した教育活動の充実と多様な授業展開による学びの保障に向けて、多様なニーズに応えるデジタル機器の効果的な活用とオンライン学習の充実を図る必要があります。教育の質を高める学校情報化認定は市内小・中学校すべての学校が取得しています。
- 働きやすい職場環境づくりの推進に向けて、働き方改革に向けた学校の意識変容と在校等時間縮減の推進を図る必要があります。

5 施策の令和6年度結果に対する審査結果

①政策推進本部での指摘事項（施策目標達成度評価結果報告を受けて令和7年7月23日）

- 「合志市教育振興基本計画」及び小中一貫教育に関わる教育長提言「志合わせて夢実現プロジェクト」を推進すること。
- 児童生徒数の推移を見据え、給食施設を含む学校施設において、引き続き計画的な施設整備を進めること。
- ICT機器を効果的に活用した学習活動の充実と多様なニーズに応える学びの保障を推進すること。
- 引き続き、教育現場において働きやすい職場環境づくりに努めること。

②総合政策審議会での指摘事項（令和7年7月31日、8月6日のまとめ）

- 多様化する社会に対応した学びを保障するために、適切な学習環境を整えること。
- 教員不足解消に向けた教員の勤務環境の見直しを行うこと。

③議会の行政評価における指摘事項（令和7年9月1日）

- 開かれた学校を目指し、地域や保護者と積極的に課題を共有し、環境整備に取り組むこと。
- 発達や理解度、認知特性など、それぞれ異なっている子ども達に対し、誰ひとり取り残さない方策を常に工夫すること。
- 水泳の授業を市内スイミング施設を利用して行うことを検討すること。
- 給食費の公会計への移行を適切に行うこと。

6 次年度に向けた取り組み方針

○政策推進本部 令和8年度合志市経営方針（令和7年10月10日）

- ①学校教育の充実を図るため、「合志市教育振興基本計画」及び「志合わせて夢実現プロジェクト」を踏まえた小中一貫教育を推進します。
- ②ICT機器を効果的に活用し、不登校支援を含めた多様なニーズに応える学びの保障を推進し、教育活動の更なる充実を図ります。
- ③教職員の負担軽減を図りつつ、教職員が子どもと向き合う時間の確保に努めるとともに、児童生徒の人権感覚の育成と居場所のある学校づくりを推進します。
- ④給食施設を含む学校施設の計画的な整備・充実に努めます。